



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月29日

上場会社名 アイスタディ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2345 URL <http://www.istudy.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)船岡 弘忠
問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)内山 富士子 (TEL) 03 (6683) 3015
四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	109	—	△14	—	△16	—	△16	—
28年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△12.61	—
28年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期実績及び増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	905	713	78.7
28年3月期	933	737	78.9

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 712百万円 28年3月期 736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500	—	10	—	4	—	4	—	3.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年6月17日開催の定時株主総会で、平成28年度より決算期を3月31日から12月31日に変更することを決議いたしました。従いまして、決算期変更の経過期間となる平成28年12月期の業績予想については、9カ月間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)の予想数値を記載しております。このため対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期1Q	1,344,100株	28年3月期	1,344,000株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	14,095株	28年3月期	14,078株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期1Q	1,329,965株	28年3月期1Q	1,332,672株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成28年7月29日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、急速な円高による企業収益の悪化懸念や株式市場の不安定な状況、中国経済の減速や欧州における債務問題等により、先行き不透明な状況で推移しております。

当社は、平成28年4月1日より社名を「株式会社システム・テクノロジー・アイ」から、当社の製品ブランドである「アイスタディ」に変更し「アイスタディ株式会社」となりました。当第1四半期累計期間では、当社および当社サービスの更なる認知度向上と浸透を図るべく、IBM Watson Summitや教育ITソリューションExpo等のイベントに積極的に出展いたしました。同時に、今後の販路拡大に向け、当社の親会社である株式会社ブイキューブ及びそのグループ会社であるパイオニアVC株式会社とのシステム連携や技術活用の準備を進めてまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高は、109,132千円、営業損失14,187千円、経常損失16,698千円、四半期純損失16,771千円となりました。

なお、前年同四半期累計期間は、連結財務諸表を作成しておりましたので前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期より、管理区分の見直しに伴い従来の「iLearning事業」セグメントを「LMS事業」に、「Learning事業」セグメントを「研修サービス事業」に名称変更しております。

また、当第1四半期より、管理区分の見直しに伴い、従来「iLearning事業」に属しておりましたeラーニング及びコンテンツ関連事業を「研修サービス事業」セグメントの区分に変更しております。

[LMS事業]

LMS事業につきましては、販路拡大に向けブイキューブグループ及び当社ビジネスパートナーとの連携を図り、法人向け学習管理システム「iStudy LMS」関連の新規案件獲得に注力してまいりました。新規案件獲得が増加していることによりフロー型売上は好調に推移いたしました。一方、ストック型売上については、一部契約終了が発生したことにより売上高は計画を下回りました。

その結果、売上高68,536千円、セグメント損失17,007千円となりました。

[研修サービス事業]

研修サービス事業につきましては、平成28年3月末に本店所在地を移転したことによりオラクル認定研修会場を従来の「銀座会場」から「目黒会場」に変更し、新会場の認知度向上に努めてまいりました。オラクル認定研修、1社向け研修（オンサイト）については、計画通り推移いたしました。研修申込代行サービス（ラーニングサービス）の申込みの出だしが鈍く計画を下回りました。

その結果、売上高40,596千円、セグメント利益2,819千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて27,712千円減少し、905,355千円となりました。これは、主に現金及び預金23,416千円、売掛金17,812千円、敷金及び保証金41,671千円の減少、前払費用9,821千円、その他38,091千円の増加によるものであります。負債は、前事業年度末に比べて4,331千円減少し、191,595千円となりました。これは主に未払金45,376千円、未払法人税等16,580千円の減少、前受収益18,389千円、長期預り敷金41,396千円の増加によるものであります。純資産は、前事業年度末に比べて23,381円減少し713,759千円となりました。これは、主に利益剰余金23,420千円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月28日に公表いたしました通期の業績予想に関しましては、現時点においては変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	211,064	187,647
売掛金	75,383	57,571
商品及び製品	1,238	2,865
前払費用	9,134	18,955
関係会社短期貸付金	250,000	250,000
その他	29,102	67,193
流動資産合計	575,923	584,234
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,583	15,127
工具、器具及び備品（純額）	6,272	5,782
有形固定資産合計	20,856	20,909
無形固定資産		
ソフトウェア	3,590	4,108
ソフトウェア仮勘定	—	5,165
その他	644	612
無形固定資産合計	4,235	9,886
投資その他の資産		
敷金及び保証金	124,464	82,792
長期前払費用	207,488	207,431
その他	100	100
投資その他の資産合計	332,052	290,324
固定資産合計	357,144	321,120
資産合計	933,067	905,355

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,596	18,031
未払金	62,470	17,094
未払法人税等	17,774	1,193
未払消費税等	325	2,460
前受金	11,612	8,481
前受収益	81,107	99,496
その他	2,039	3,440
流動負債合計	195,926	150,199
固定負債		
長期預り敷金	—	41,396
固定負債合計	—	41,396
負債合計	195,926	191,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,573	350,614
資本剰余金	326,388	326,429
利益剰余金	71,614	48,194
自己株式	△12,508	△12,523
株主資本合計	736,068	712,714
新株予約権	1,072	1,045
純資産合計	737,140	713,759
負債純資産合計	933,067	905,355

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	109,132
売上原価	58,084
売上総利益	51,047
販売費及び一般管理費	
役員報酬	7,290
給料手当及び賞与	25,999
法定福利費	4,094
広告宣伝費及び販売促進費	346
賃借料	5,154
支払報酬	5,124
減価償却費	1,816
その他	15,410
販売費及び一般管理費合計	65,235
営業損失(△)	△14,187
営業外収益	
受取利息	467
無効ユニット収入	53
その他	80
営業外収益合計	601
営業外費用	
証券事務取扱手数料	2,708
その他	404
営業外費用合計	3,112
経常損失(△)	△16,698
税引前四半期純損失(△)	△16,698
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等調整額	-
法人税等合計	72
四半期純損失(△)	△16,771

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表 計上額
	LMS事業	研修サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,536	40,596	109,132	—	109,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	68,536	40,596	109,132	—	109,132
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△17,007	2,819	△14,187	—	△14,187

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

当第1四半期より、管理区分の見直しに伴い従来の「iLearning事業」セグメントを「LMS事業」に、「Learning事業」セグメントを「研修サービス事業」に名称変更しております。

(セグメント区分の変更)

当第1四半期より、管理区分の見直しに伴い、従来「iLearning事業」に属しておりましたeラーニング及びコンテンツ関連事業を「研修サービス事業」セグメントの区分に変更しております。